

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門	はり・きゅう臨床実習1	実習	1	45	はり・きゅう実技1～9、 経絡経穴概論1・2、解剖学1～3 基礎はり・きゅう理論、臨床はり・きゅう学
学科・学年	担当教員名	科目関連 実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 1学年	竹村千冬・森井健司・川口 拳	☒ 有 ☐ 無	附属臨床施設鍼灸外来担当での実務経験に基づき、臨床の場面での患者接遇や医療面接時に必要な技能を教授します。		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
患者を治療するために必要となる知識・技術を習得し、医療従事者としての自覚を持って責任のある行動をとれるようになる。 ①身体の基礎的状态を観察評価し、損傷の要因を考察する判断力を習得する。 ②物理療法の理解を深める機会とする。 ③患者に対する接しかたを学び、思いやりを持ち、礼儀正しく、節度ある態度で接することを学ぶ。 ④医療従事者としての自覚を持ち、責任を持った行動をとれるよう、考え行動する力を育てる。					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
この授業は、臨床に求められる臨床力を育てることを目的に、その基本となる考え方や方法を学んでいきます。従って、今までに勉強してきたすべての知識を用いて患者の病態を把握し、治療法について検討してもらいます。 実際の患者を通して、その症例について様々な視点から病態や治療法などについてグループで検討し、クラス内で意見を出しあうことで、自らの考える力を伸ばしていきます。 そのために必要となる参考書・教科書等は授業に持ち込み、理解が深まるように準備してください。					
教科書・参考書					
受講時留意点、その他					
【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照 ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 ※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。（公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします）。					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験					
その他	100	レポート、出席、授業態度から評価します。 詳細は授業内にてお知らせいたします。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		体験実習		/	森井 川口 竹村
2		医療面接①		/	森井 川口 竹村
3		医療面接②		/	森井 川口 竹村
4		医療面接③		/	森井 川口 竹村
5		身体の観察 バイタルサインのチェック①		/	森井 川口 竹村
6		身体の観察 バイタルサインのチェック②		/	森井 川口 竹村
7		身体の観察 バイタルサインのチェック③		/	森井 川口 竹村
8		患者接遇①		/	森井 川口 竹村
9		患者接遇②		/	森井 川口 竹村
10		予診票①		/	森井 川口 竹村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		予診票②		/	森井 川口 竹村
12		診療録①		/	森井 川口 竹村
13		診療録②		/	森井 川口 竹村
14		診療録③		/	森井 川口 竹村
15		身体観察①		/	森井 川口 竹村
16		身体観察②		/	森井 川口 竹村
17		身体観察③		/	森井 川口 竹村
18		症例検討		/	森井 川口 竹村
19		症例検討		/	森井 川口 竹村
20		症例検討		/	森井 川口 竹村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		地域理療学		/	森井 川口 竹村
22		相互施術		/	森井 川口 竹村
23		相互施術		/	森井 川口 竹村
24				/	
25				/	
26				/	
27				/	
28				/	
29				/	
30				/	